

「機械駐車設備／導入事例」

今日的路地空間を配した地域密着型ホテル

浦和ワシントンホテル

新都心建設で発展する県都
浦和市の目抜き通りに誕生

東京の都心から20〜30キロ圏内という立地の浦和地区は、これまではベッドタウンとしての性格が強い街だったともいえるでしょう。ところが、大宮地区の新都心建設、政府機関の移転、そして2002年のワールドカップ誘致を目指すサッカードーム「アリーナ」の建設と、大型プロジェクトが相次いで始動しています。とくに十省庁の政府機関移転により、約7千人の要員が県外から引っ越してくるほか、21世紀前半には埼玉県人口が現在の690万人から800万人に増加するという見通しもあります。

そして、昨年の10月10日、このように大きな変貌と発展を遂げつつある、浦和駅西口の目抜き通りにオープンしたのが「浦和ワシントンホテル」です。ワシントングループとしては69番目となるホテルですが、同グループの『経済的で満足度の高いホテル、地域社会にしっかり密着したホテル』との理念を最大限に具体化し、早くも地域の住民の皆様に親しまれるホテルとなっています。

今回の計画地は駅から約3分、県庁か

らも約10分という好立地にありますが、

間口が約20メートル、奥行き約100メートルという短冊形の細長い敷地で、西側が旧中山道、東側が浦和駅からのアプローチ道路に面しています。そこで、この敷地の特性を生かすために、旧中山道と駅側の道路を結んだ通り抜け通路を設けるというユニークな構造をもっています。規模としては地下1階地上12階建てとなりますが、通路の中央部には、光を取り込む3層吹き抜けの光庭が配されたことで、通路にゆとりと広がりを与えられて、誰でもが気軽に通り抜けやすいような配慮がなされています。また、光庭には滝があり、夜間はライトアップされ、床には光ファイバーを内部から外部に通して埋め込んだことで飲食街通路と光庭の一体感が演出され、「光」を媒体にして回遊性が誘発される、今風の「路地空間」で飲食街店舗とのイメージ的な融合がはかられています。この1、2階の飲食街は地域密着型の施設であり、周辺の活性化にも寄与する浦和の「食」の新たな所となっています。

また12階には質の高い和食レストランとして「椿山荘」が、2階には利用しやすい北海道ビュッレストラン「ジョージタウン」がオープンしました。そして、1、2階のほかの著名なレストランとともに

入庫時間を短縮する エレベーター方式を採用

浦和市民の皆様にあられるホテルとして、宿泊者以外のお客様の集いや、セミナーなどの頻繁な開催が予想され、来場の方々の車でのアクセスを確保するためにも、パーキングの収容台数は十分に確保することが必要となります。

浦和ワシントンホテルの客室総数は140室ですが、地下1階の駐車場は平面駐車12台、そしてエレベーター方式（フォーク式）58台の合計70台という収容台数が確保されました。そして、立体駐車場設備として採用されたのが日精のエレベーター方式です。乗入階は地下1階にあり、地上3階までがビル内組込み、4階

以上が独立鉄塔型の構造となっています。ホテル内の駐車設備に求められる条件としては、お客様の入庫時の運転操作が容易で、さらに待ち時間の少ないことが必要となります。日精のエレベーター方式はターニングテーブルの内蔵により「頭から入れて頭から出せる」スムーズな入庫が可能で、格納時の動きのムダを徹底して排除することで、大幅に待ち時間を短縮しています。車の出入りの多いホテルの立体駐車設備としては、省スペースをも同時に確保できる理想的な設備となっています。



浦和駅からのアプローチ道路に面した、浦和ワシントンホテルの東側にあるエレベーター方式の独立鉄塔部分。スリムでムダのないタワー部分がホテルの外観ともマッチしている。（高54m）

浦和ワシントンホテルのエレベーター方式の収容台数は58台。もともと細長い敷地では平面駐車だけでは収容台数に限界があった。省スペースの立体駐車設備が威力を発揮する。

建築概要・建築規模

構造規模：地下1階、地上12階
建築面積：2,052.16㎡
延床面積：11,875.84㎡
設計・監理：株式会社 日建設計
施工：東急建設株式会社

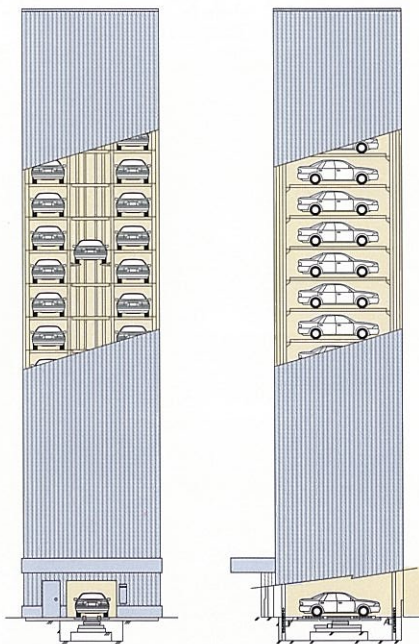


エレベーター方式＜フォーク式＞ エレベーター方式

省スペースと大量格納を可能にするエレベーター方式。その基本コンセプトに加え、エレベーター方式はフォーク式リフトを採用。「よりスピーディに」をモットーに、エレベーターリフトや横行台車の動きからロスタイムを徹底して排除し入庫時間を短縮しました。また安全性、騒音、振動にも配慮した設計で、従来機種との部品共通化をはかることで低コスト化を実現しています。さらに普通乗用車とハイルーフ車の混載収容ができる「ミックス型」もラインアップ。「独立鉄塔型」と「ビル組込み型」の2種類があり入庫頻度の高い営業用機械式駐車設備としても最適です。日精の先進のメカニズムがエレベーター方式駐車設備の新しい時代を開きます。



フォーク式方向転換装置（ターンテーブル）内蔵により前進入庫・前進出庫が可能で、初心者ドライバーでも安心して利用できます。



エレベーター方式は、エレベーターリフトに搭載した車を指定階の横行台車が受け取り、左右にスライドして車を駐車棚に格納します。

「ワシントンホテルメススクエア」が誕生したことで、140室という比較的小さい客室数のホテルですが、その半面、料飲食施設が充実したホテルとしてユニークな性格をもつ内容となりました。

外観は赤レンガ張りの落ち着いた雰囲気、今、大きく変化する駅前

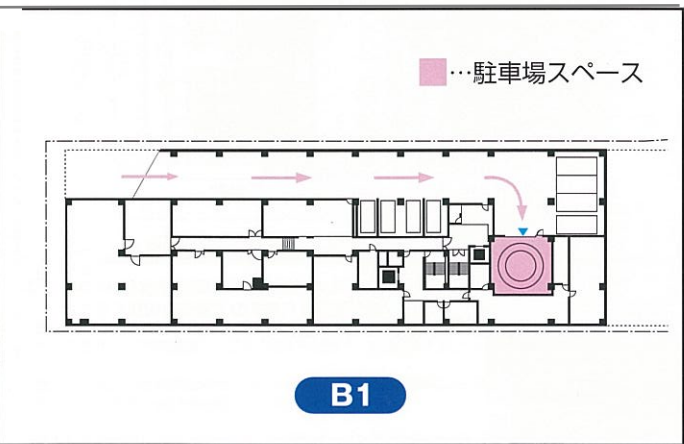
の目抜き通りでも

ある旧中山道のグ

レイド感を高める

視覚的效果を実現

しています。



駐車設備概要
駐車設備：エレベーター方式（フォーク式）
ニッセイ・エレベーター方式 × 1基
型式：NEL・USGT-58
収容台数：58台

1階の通路そのものが、浦和駅への近道としての役割を果たすこともあり、早くも地域の住民に親しまれるホテルとして認知された。

